

6. 水虫（足白癬）について

1. 原因及び感染経路

白癬菌というカビ（真菌）の一種が皮膚に住みついて増殖する皮膚の病気です。一般的に多い足の水虫を足白癬といいます。感染経路は、足からむけて落ちた皮と一緒に多数の菌が居住環境にばら撒かれ、バスマット、靴下、スリッパの共有などで足に付着し発症します。白癬菌は高温多湿を好み、不潔にしていると感染しやすくなります。

2. ケアの具体的方法と注意

- ①シーツ、寝巻き等を交換する時はほこりをたてないようにして白癬菌を周囲にばらまかないように注意してください。
- ②通常足浴は普通のお湯で指の間をよく洗います。石鹸を使用した場合は石鹸が残らないように、お湯を変えてよく洗いながし、よく拭いて乾燥させることが大切です。この場合はディスポーザブル手袋を着用する方が望ましいです。
- ③爪切りは本人専用としましょう。使用後はアルコール綿で拭いてください。
- ④1日1回は床やカーペット、および畳の掃除をしましょう。
- ⑤患部を触ること以外の通常のケアは使い捨て手袋の着用は必要ありません。

3. 家族への説明

- ①家にある塗り薬をむやみに使用しないでください。使用方法を間違えると逆効果になり悪化します。よって専門医師の診察を受け処方された薬のみを使用してください。
- ②水虫はよくなったようでも再発しやすいので塗り薬は広範囲に根気よく塗りましょう。医師に塗り薬の終了の確認をとってください。
- ③タオル、バスタオル、靴下などは本人専用にししましょう。バスマットは濡れたら取り替えます。できれば爪きりも本人専用にししましょう。
- ④部屋の掃除は1日に1回は行ないましょう。高温多湿にならないように換気に気をつけ室温にも注意しましょう。
- ⑤患部に薬を塗った後は手洗いを十分に行うことが必須です。

4. 介護者の安全対策

- * 患部に触れた時は石鹸、流水を用いて手洗いを十分に行いましょう。
- * 足白癬の予防の為に1日に1回は自分の足を丁寧に洗いましょう。

5. その他

1) 症状について・・・部位によって病名が変わります。

- ①足白癬 : 俗にいう水虫です。足の趾の間が赤くなって皮がむけたり、ただれてジュクジュクしたり、水ぶくれができて強い痒みを生じたり、足の裏全体がカサカサして厚く硬くなり皮がボロボロむけたり踵にひび割れたりします。かゆみがないとただの皮膚の荒れとして放置され爪白癬を合併している頻度が高いので注意が必要です。
- ②手白癬 : 手の指の間に足と同じような症状があります。
- ③爪白癬 : 手、足白癬に合併することが多く爪が白色から黄色に濁り厚くなり変形します。爪白癬は白癬菌の貯蔵庫になります。
- ④股部白癬 : 股間、太ももの内側、陰部にみられかゆみがあり赤みがだんだん
(いんきんたむし) 輪になってまわりに広がるのが特徴です。
- ⑤体部白癬 : かゆみがあり赤みがだんだん輪になってまわりに広がります。
(たむし、ぜにたむし)
- ⑥頭部白癬 : 頭皮がカサカサして毛が抜け放置すると瘢痕、永久脱毛を残します。
(しらくも)

2) 治療方法について

- ①医師より処方された塗り薬を毎日1～2回患部の周辺も含めて広範囲に塗ります。
- ②爪白癬は飲み薬もありますが高齢者では他の疾患の為に飲み薬を飲めない場合が多いので、爪をよく切って塗り薬を塗ると爪が平らになり症状の軽減も期待できます。